

**SOFTIC 連続講座 2020(全 17 回)**  
**カリキュラム**

時間：13 時半～16 時半（3 時間、休憩・質疑応答含む）

	2020	講 義 概 要 *カッコ内講師名 (敬称略)	テーマ
第 1 回	10/2 (金)	<b>著作権法概論 I (慶應義塾大学教授：奥邨弘司)</b> 「著作物とは」「著作権の内容」「著作者人格権」「著作権侵害」等、日本著作権法を事例に触れながら概観し全体像を把握する。	著作権
第 2 回	10/9 (金)	<b>著作権法概論 II (慶應義塾大学教授：奥邨弘司)</b> II では、最新の改正（リーチサイトと海賊版ダウンロード違法化、写り込み、ライセンス対抗制度（予定））について解説する。	
第 3 回	10/15 (木)	<b>米国著作権法：制度と判例動向 (弁護士：上沼紫野)</b> 米国著作権法は我が国と異なる法体系で成り立っている。まずその制度概要を理解し、その基礎知識を踏まえ、判例動向、特にソフトウェア、ネットワーク等に関連した重要判例について、我が国類似判例との比較も交え、解説する。	
第 4 回	10/21 (水)	<b>ソフトウェア契約 ((株) 日本総合研究所法務部長：大谷和子)</b> ソフトウェアの開発・流通・利用の各フェーズにおける契約類型をモデル書式を参照しながら概観し、基本的な考え方と実務上のポイントをつかむ。民法改正（2020.4 施行）の影響についても触れる。	契約
第 5 回	10/30 (金)	<b>ソフトウェア契約を巡る法的トラブル (弁護士：片山史英)</b> ソフトウェア契約実践。まずソフト取引の類型とその法的性質を概観した上で、各類型ごとの問題点及び対応の留意点を、QA 形式で実務的・具体的に解説する。演習問題もあり。	
第 6 回	11/5 (木)	<b>ソフトウェア関連発明概論 (弁理士：三品岩男)</b> ソフトウェア関連発明とはどのようなものか。またその特許による保護・権利化について IoT・AI 関連の審査基準にも触れつつ具体的な技術をもとに解説。	特許
第 7 回	11/11 (水)	<b>発明の権利化と特許出願実務 (弁理士：土井健二)</b> 発明の抽出と権利化の実際を、初学者・法務担当者にもわかりやすい完全ゼミ形式でシミュレーションする。出願実務のノウハウも。	
第 8 回	11/18 (水)	<b>ソフトウェア関連の特許侵害論 (弁護士：岩原将文)</b> 侵害訴訟における攻撃、防御の基本から実戦まで広く取り上げた上で、ソフトウェア関連特許特有の問題点、OSS、クラウド、AI 等最新の問題点について深く検討する。なお、具体的な事例を対象として半ゼミ方式で行う。	
第 9 回	11/25 (水)	<b>不正競争防止法 I (弁護士：小倉秀夫)</b> 幅広い守備範囲を持つ不競法。I では、周知・著名商品表示や商品形態を冒用・模倣からいかに守るか、不競法第 2 条第 1 項第 1 号～第 3 号を中心に学ぶ。	不競法
第 10 回	11/26 (木)	<b>不正競争防止法 II (弁護士：小倉秀夫)</b> II では特に営業秘密の保護を中心に第 2 条第 1 項第 4 号以降について学ぶと共に、2018 年改正により新設された限定提供データの保護についても解説。	

第 11 回	12/3 (木)	<b>知財訴訟の判断枠組み (弁護士：飯村敏明)</b> 元知財高裁所長による近時の代表的な特許・著作権等知財判例の解説。侵害成否判断のポイントや判決の意義等を裁判官経験者ならではの視点でまとめる。知財法務上級。	その他の諸問題
第 12 回	12/10 (木)	<b>独占禁止法と知的財産権 (弁護士：佐藤郁美)</b> 知的財産権に関連する行為にも適用される独占禁止法。その基礎知識を得た後、情報の独占を許す知的財産権との関係について理解を深める。さらにデジタルプラットフォーム規制等、最近のデジタル経済と独禁法との関係についても俯瞰する。	
第 13 回	2021 1/14 (木)	<b>システム開発紛争の予防と解決 (弁護士：大澤恒夫)</b> いかにして法的トラブルを避けるか、起きてしまったトラブルをいかに迅速に解決するか。ADR の活用も含め、考え方とポイントを整理。	
第 14 回	1/20 (水)	<b>知財最新動向と企業実務 (SOFTIC 専務理事)</b> IoT やビッグデータにおけるデータの利活用における課題 (データベースやデータそのものの保護、発展著しい AI に関する知財問題) 等知財に関わるトピックについて解説するとともに、企業実務への影響を考える。	
第 15 回	1/28 (木)	<b>OSS の利用と法的リスク (弁護士：宮下佳之)</b> 多様な技術・事業分野で活用され今やなくてはならない OSS。その取引や利用における課題とリスクについて、「IoT 時代における OSS の利用と法的諸問題 Q&A 集」(SOFTIC 発行, 2018.3) をもとに解説する。	
第 16 回	2/4 (木)	<b>デジタルコンテンツの利用と今日的課題 (弁護士：村尾治亮)</b> 著作物に限らずさまざまな情報を含むデジタルコンテンツの取引が活発に行われている。こうした利用に関わる法的課題や競争法的な観点から留意すべき事項等、情報の取引に纏わりとりわけ今日の問題について整理・解説する。	
第 17 回	2/10 (水)	<b>個人情報保護法の解説と越境データ問題 (弁護士：板倉陽一郎)</b> データ取引の一角をなす個人情報。ビジネスの現場に大きく影響するその取扱いについて、現行法のポイントや改正の議論状況、EU 一般データ保護規則 (GDPR)、データ移転規制の動向について解説。	